







た三年間でした。お亡くなりになる直前に、二人きりの子供たちである教行と道弘を並べ、「教行、教を頼む」、「道弘、葬儀一切を頼む」

「私の人生は偽りの人生だった。」  
「私の甲斐性が無く、すまなかった。」  
と仰っておられました。本堂に真剣におっしゃっていられた事が伝わってくる時、神様になられる時、時々刻々と変化され、変幻自在である神様がいつ現れるか、毎日が毎日、本堂に気が抜けない日々を過ごさせていたいただきました。

へ神様からのプレゼント

長男の教行は中国の浙江省杭州市というところの勤務する会社の中国進出のための工場建設、品

質・生産の仕組みづくりに赴任し、中国に赴任し、円満に迎える節目の月、円満に中国から帰任させて頂くと共に日本の道を社を定年退職する道を選び、その次の月には沼津からの引越には金光教学院への入学、金子とのおかき、拍子のおかき、頂上、御用をされて長のお祈りしていただきます。

神様に喜んで頂ける教師としてお役に立たせて頂きますようお願いいたします。

編集後記 《コラム 苔桃》

「潮騒」創刊に当たり

本誌は教会の結界取次とその他活動の取り組み状況など、神様のお役に立たせていただくための情報誌として、信奉者、そしてご家庭の皆様のお役に立たせていただくという願いをもつて、あいよかけよの橋渡しのお役に立たせて頂きたいと感じております。

とりわけ、伊勢志摩地方は天地金乃神様のご縁のある天照大御神をお祀りされている伊勢神宮の宿場でもあり、鳥羽の地は伊勢志摩国立公園の玄関でもあります。

「潮騒」誌は、満ち満ちる汐の波音の如く神様のお導きを頂き、繰り返す神様の願いに叶い、そして社会の、家族の願いに叶う生き方ができるように、お役に立たせていただくような広報活動を目指します。ご意見、投稿などございましたら、次のメールアドレスにお気軽にご連絡ください。

以上 《野呂教行》

電話 080-3077-7629 (Line可能)

メール

Noriyuki\_Noro@konko-toba.com